

楽しい行事がいっぱい

四季折々の行事も盛りだくさんあります。春にはひな祭り、新一年生の歓迎会など。夏から秋にかけては各児童会館ごとのお祭りなど。冬は雪遊びなど。

このほかにも、スポーツ大会や畑に野菜を植えて秋に収穫祭を開くなど、地域性や子どもたちの希望により、各会館で工夫を凝らしています。最近では、親子で参加できる行事も増えて



▶はつきたこども放送局
(発寒北児童会館)

きています。

子どもたち自らが主体的に運営しているものもあります。

発寒北児童会館では、毎月、隔週の金曜日に「はつきたこども放送局」を開設して、放送局員である子どもたちがリクエスト曲やお話などを放送しています。

また、地域に根差した行事もあります。発寒児童会館では、毎年行われる「夏祭り」や地元の子ども会との「もちつき大会」に二百人近くの地域の方などが参加しています。

もう一つ特徴的なのが、幼児を対象にした行事です。平日の午前中を中心に各会館で実施しています。毎月第三金曜日の午前中、二十四軒児童会館で実施されている「ドラえもんタイム」は、職員による幼児への絵本の読み聞かせのほか、親子でのリサイクル工作、クッキング、遊べるおもちゃ作りなどを行っています。平和児童会館では、毎月「ボクらのじかん」、「キンダー教室」といった親子のふれあ

いを中心とした行事も行われています。八軒児童会館では、隔月ごとに地域のボランティアの方々によるお話のほか、紙芝居の語り聞かせなども行っています。西野児童会館では、月一回「子育てフリートーキング」を行っています。経験豊かなボランティアのお母さんたちや保育士が、若いお母さんたちの相談相手になっています。取材の日は、同会館の近くに住む主婦の大



▶子育てフリートーキング
参加のお母さんたち (西野児童会館)

石奈緒里さんもお子さん連れて参加していて、ボランティアの斉藤清枝さん(民生児童委員)たちに、子育てに関していろいろなアドバイスを受けていました。

親子交流や地域活動の広場

行事がない日でも児童会館は、地域の親子に開放されています。平日の午前中はゆつくり遊べるので特別に薦めます。同世代の子どもを持つお母さんたちや子どもたちが友達となり、一緒に遊べるだけでなく、育児に関する情報を交換することもできます。

また、子どもたちが家に帰った後や日曜日など、会館の利用時間外も地域の皆さんに開放しています。体育室を使った剣道、空手、ミニバレーなど、子どもたちの健全育成を推進するためのスポーツをはじめ、書道などの文化サークルや町内会の集まりなどにも利用されています。

留守家庭の子どもたちの「児童クラブ」

保護者の方が仕事などで家に不在の小学一〜三年生のお子さん(平成十五年度から障害のある児童は小学四年生まで拡大)を対象にした「児童クラブ」があります。留守家庭の児童が放課後の時間を安心して過ごせるよう、下校時から午後六時(学校休業日は午前八時四十五分から午後六時)まで、日曜・祝日、休日、年末年始(十二月二十九日〜一月三日)を除き開設しています。

子育てサロンで仲間づくり

子育て支援事業の「子育てサロン」も毎週一回、各児童会館を会場に開催しています。このサロンは、地域の親子やこれから親になる方が自由に集い、遊んだり、交流したりして楽しむ場です。毎回多くの親子が会場を訪れます。